



こんにちは。生涯学習パソコン・インストラクターの中田由美子です。

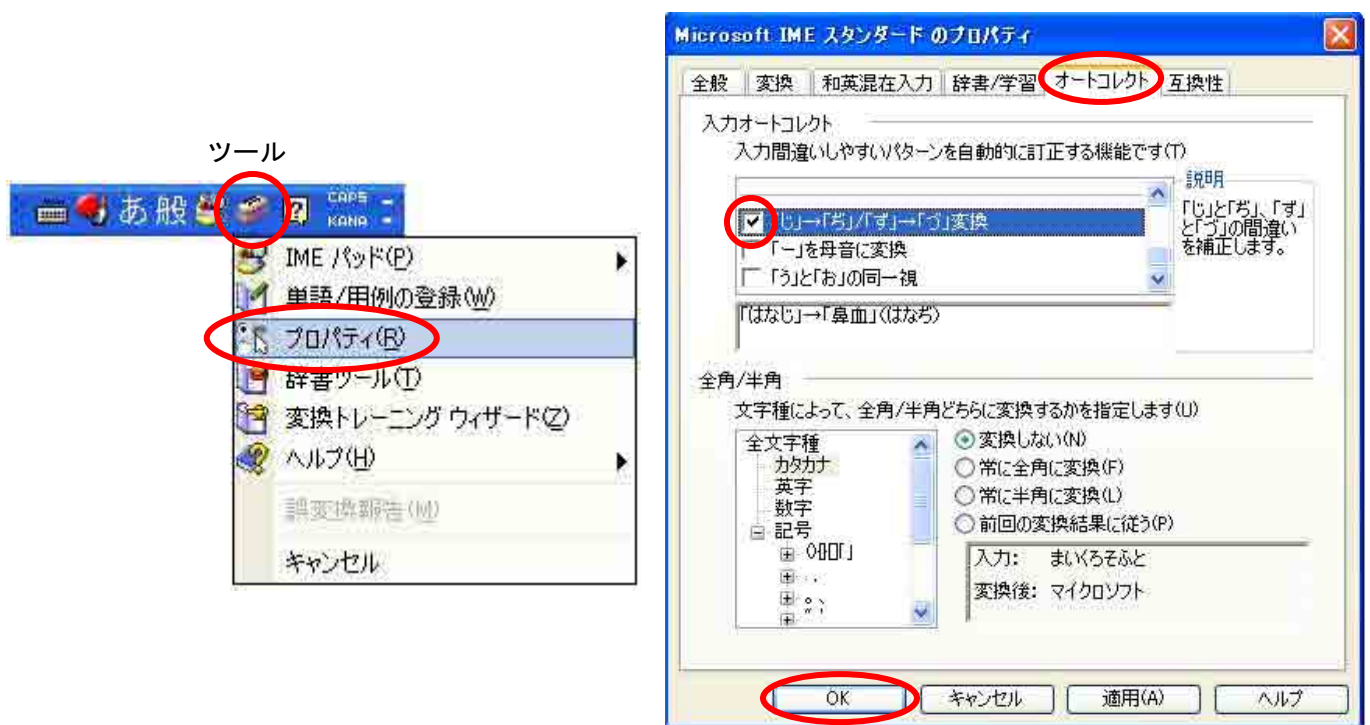
パソコンに関する身近な疑問の解決法や重宝するコツ、楽しいうんちくなどをお届けします。

「稲妻」は「ず」？「づ」？ 間違っても正しい漢字に変換できる方法

「稲妻」の正しい読みは「いなずま」ですが、「新妻」の読みは「にいづま」です。同じ「妻」という字を「ずま」とも「づま」とも書きます。パソコンで入力する時も、正しく「いなずま」「にいづま」と入力した方が早く変換が出来ます。「じ」と「ぢ」も同様に、どんな場面でどちらを使うかが現代仮名遣いで決められています。一例として、地（ち）を使っている地面（じめん）等があります。もちろん、正しい読みを知ることが大切ですが、入力を間違っただめにパソコンで思い通りの漢字に変換出来ないというのは煩わしいですね。日本語IMEには「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」を修正する機能があります。あらかじめ設定しておけば間違っても入力しても正しい漢字に変換することが出来ます。

「じ」→「ぢ」／「ず」→「づ」の設定方法

- (1) 日本語入力の状態で、IMEツールバーの **ツール** → **プロパティ** をクリックする。
- (2) Microsoft IME スタンドのプロパティの **オートコレクト** をクリックし、入力オートコレクトの中の **「じ」→「ぢ」／「ず」→「づ」変換** チェックボックスを **ON** にする。
- (3) Microsoft IME スタンドのプロパティを **OK** して閉じる。



熟語の他に地名等も入力が難しいですね。最近では道路標識にローマ字が使用されていて、例えば「会津」は「Aizu」と表記されていますが、パソコンで「aizu」と入力しても正しい漢字変換が出来ません。これは地名等の表記にはヘボン式のローマ字が使用されているためです。ヘボン式のローマ字は、英語の発音に準拠するため「ず」も「づ」も「zu」と表記されます。このように地名や駅名の表記、パスポートの氏名表記の際にはヘボン式を用いることが決められていますが、パソコンの文字入力にはあまり向かないようです。